

発行：社会福祉法人 多摩養育園 編集：広報紙編集委員会
〒192-0055 東京都八王子市八木町8-11 TEL 042-623-3388・FAX042-623-3389
制作・印刷：株式会社 共同印刷所 ホームページ：<https://www.tamayouikuen.net/>

みんなの「生きる」を
社会福祉法人



SDGs 誰一人も取り残さない世界へ⑧
法人はひとつ

社会福祉法人多摩養育園
理事長 足利正哲

創設者が発刊した広報紙「光明」は昭和54年の初版から全166号
そこには戦中戦後を経験した生の記録が記されている

「戦後の復興は児童の養育から」と一念発起し
2本の銀杏の木の下に光明保育園は産声を上げた
そこに至るまでには 見返りを求めない
沢山の人の善意があった
昔も今も変わらない

人は生まれてから社会と関わりながら過ごす
家族 ご近所さん 友人 同僚
新たな挑戦の時 困難を乗り越える時
常に人は誰かと繋がり 助け合い
その中で生きていく

法人理念 ゆりかごから天国まで
保育 高齢 障害 法人はひとつ

地域の皆様に支えられ
これまでもこれから
あたりまえの毎日に感謝しながら

保育園からこども園へ

こども園スタート

光明第三、第四、第七、第八保育園は、令和5年度より「幼保連携型認定こども園」としてスタートしました。3月28日全園の子ども達と一緒に新園名のお披露目を開催。園歌や館銘板も一新。職員も「保育士から保育教諭」と職名変更しました。地域の子育て家庭へ、幅広い支援の展開を進めて参ります。



外国人技能実習生近況報告

インドネシアから3名の技能実習生を迎えて4か月。実習生たちは、慣れない生活環境の中、目的である介護技術の習得に向け日本語の勉強、施設での実習や行事参加など積極的に取り組んでいます。



地域の外国人交流行事参加

八王子市川口地区で、日本人と外国人が交流する「にほんごかわぐち」に町会のお誘いで参加。コロンビア、ガーナ、フィリピン、ベトナムの方々と交流し、親交を深めました。



地域とともに

光明檜原 サタデーマーケット開催

コロナ禍の中、地域の人と繋がりたいと始めた隔月開催の「サタデーマーケット」。回数を重ねるごとに、訪れる方々が増えてきました。檜の里の入居者様、光明第三こども園の園児や保護者様、そして地域の方々みんなが笑顔。人と人とのふれあいの大切さを改めて感じます。今年は、奇数月第四土曜日に開催予定です。詳細は檜の里へ ☎042-622-6777



SDGs 未来のためにできること



2030年までに国際社会が取り組むべき「持続可能な開発目標」SDGs。SDGs目標3「すべての人が健康で幸せな生活を送れるようにする」は、法人理念そのものです。今日を明日に繋げ

より良い未来を創るため、当法人では、地域や企業の皆様とも協力して取り組んでいます。



ゴミ投入体験 戸吹清掃事業所

ロスフラワー (有) ヒラノ花店

SDGs 教室 リコージャパン(株)

特集

未来へ連携

コロナ禍を経て、新しい未来の扉が開き始めています。今年度から保育部は、「光明の保育課」、施設部は「その人らしい人生課」に名称が変わりました。明るい未来の構築に向け、地域と連携していきます。

スリランカとの交流

新スリランカ大使ご来臨

1月17日、E.ロドニー・M・ペレラ駐日スリランカ大使と雅子夫人をお迎えしました。歓迎セレモニーにご出席後、光明ビルと光明第一保育園をご見学され、子ども達からの「アユボワン」の挨拶に笑顔でお応えくださいました。大使閣下より、「憎しみは憎しみによって止むことなく、愛によって止む」と、平和を願うお話をいただきました。



こども英会話教室スタート!!

スリランカ大使令夫人のご厚意により、こども英会話教室が、4月10日に光明第一、第二、高倉保育園で開講しました。各園月2回のレッスンを受け、英語への興味を深めていきます。



スリランカよりお釈迦様請来

3月13日、リオンロイヤル社長シャーンタ ウィクラマシンハ様より、当法人にスリランカのお釈迦様をご寄贈いただき、子どもたちと一緒に多摩養育園のご本尊様になるお釈迦様をお迎えしました。



生命のつながり

正明桜の生命の継承

創設者が植樹し、長年入居者様を見守ってきた「正明桜」。精華改築に伴い伐採することに。その命を悼み新たな地に挿し木をし、この春60本ほどの細枝に可憐な花が咲きました。生まれ変わった正明桜が、共に成長していく事を願っています。



地域のためにできること

多摩養育園 福祉なんでも相談

多摩養育園では全施設で、福祉なんでも相談を実施。電話でも直接来訪でも大丈夫。お一人で悩まずにお近くの施設へお気軽にご相談ください。



連載 「光明」 ④

光明第二保育園の誕生

前史その一

光明保育園（後の第二）が誕生した頃、近隣の住民や、同じ僧侶の面々がやってきた。「皆様もどうぞ保育園を開いて近隣の働く母を助け、また、幼児を守ってやって下さい。こう云う施設は各町内にあつてい、沢山ある程皆様のお役に立つ。」とすすめたが、その時正明の本籍地、小金井町の同宗の住職もやってきていて、「こちらは焼跡とは云い、市街の真中だから、い、我々農村では、檀家が点在していて、到底多数の幼児は集められない。」と云うので、それでは、「先ず隗（かい）よりはじめよ。」だ。わたしがやろうと、正明は小金井町貫井（今の貫井南町一丁目）栗林の真つ只中に、千手院と云う寺があり、昔から檀家が一軒もないから、住職は他と兼務で無住なのだから常在しない。

その本堂を仮園舎として準備し、広大な栗林の下を園庭として開園を広告し、募集したら、それでも二、三十名集まった。開園式には町ではじめて置かれた社会課の課長に就任した、元小学校の教頭の鈴木誠一氏（後の市長）が来臨されて、心からお祝いをして下さった。

〔光明〕第160号平成9年11月15日より転載

第76回 創立記念日祝賀会

創立記念日である4月17日、光明ホールにて式典を開催。リオンロイヤル社長シャーンタ氏より、ご寄贈いただいたスリランカ仏をスリランカ大菩提会会長であられるパナガラ・ウパティッサ大僧正に開眼していただきました。多摩養育園のご本尊としてご利用者様、園児、職員を見守ってください。皆さまと共に歩んで参ります。



スリランカ仏開眼式



ウパティッサ大僧正ご挨拶



物故者追悼供養



感謝表彰

波多野会長 ありがとうございます

八王子元市長であり、多摩養育園後援会長を長年お勤めいただきました波多野重雄氏が、4月14日97歳でご逝去されました。波多野氏は当法人創設者と親交も厚く、長きに亘り法人の発展のためにご尽力されました。

ここに一同で感謝申し上げます。心よりお祈りいたします。



精華改築進捗報告

精華改築工事が、1月より本格的に動き出し、今までお世話になった管理棟の解体と同時に、旧多摩軽費老人ホーム跡地に建築が始まりました。入居者様が、地域と共に自分らしく生活できる施設づくりが着々と進んでおります。入居者様は完成を楽しみに、日々工事を見守っております。



題字・表紙写真 足利正哲

編集後記

最近の明るいニュースといえば、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）。日本代表が14年振りに優勝。こんな映画のようなストーリーがあるんだと、見ていた人に感動を与えてくれました。そしてその影響は大きく、保育園でも子ども達が廃材でバットとボールを作り、にわか野球チームを結成。日を追うごとに野球が上手くなっています。改めて、大人が夢を追って楽しむ姿を子どもに見せる事の大切さを、実感させてもらったWBCでした。未来の大谷選手が生まれる日もそう遠くはなさそうです。

広報紙編集委員会